

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターめぐみ（放課後等デイサービス事業）		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 事業所は自然環境に恵まれた高台にあり、敷地面積も広くゆったりしているため、利用者が精神的負荷を感じ難い。 施設は平屋建てでスロープも緩く、車椅子でも利用しやすい完全バリアフリー仕様となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 主たる利用者が重症心身障害児であるため、感染症対策等は徹底して取り組んでいる。 気候が穏やかな時期の天気の良い日には、施設周辺の散策を積極的に行うようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 寒暖が厳しい時期は、送迎の車の中から施設周辺の自然を覗いてもらい、季節の移り変わりを感じてもらおうとする。 事業所内での表情や成長が感じられた場面を、SNS (LINE)を通じてご家族に都度報告する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が常時配置されているため、医療的ケアの必要な児童にも対応が可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校の実習生を積極的に受け入れ、重症心身障害児や医療的ケア児の卒業後の進路選択を行いやすいようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状でも医療的ケア児の受け入れは可能であるが、今後もスタッフ等を充実させ、引き続き受入態勢を充実させていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 同一事業所にて、児童発達支援事業と生活介護事業も行っているため、児童発達支援 ➡ 放課後等デイサービス ➡ 生活介護と、利用施設を変えることなく支援を継続できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が利用している他事業所と定期的に情報交換を行い、利用者の状況を把握した上で、生活の質の向上に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者本人の体調変化や、生活環境の変化があった場合でも、同一敷地内に相談支援事業所や療養介護施設があるため、本人とご家族に困りごとがあれば積極的に寄り添っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の所在地が、県庁所在地から離れた過疎地域にあり、更に幹線道路から入り込んだ山の高台にあることから、場所が分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の認知度が低いため、施設のPRや地域とのつながりを持つ必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> SNS の活用や地域との交流会を再開する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 重症心身障害児（者）施設が母体であるため、地域の重症児を対象として事業を行ってきていることから、他の障害児の受け入れ態勢ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 重症心身障害児以外の障害児の対応ができる職員の不在や、設備が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな職員の採用や育成、利用スペースの確保を行い、一元化を実現できる態勢作りが必要。
3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者を交えた家族間交流等がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の利用児が2名と少数であることから、実現できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者やきょうだい児が参加できるような交流会やイベント等を検討する必要がある。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援センターめぐみ						
	公表日	2025年2月28日					
	利用児童数	2名	2025年2月18日	回収数	2		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	2				
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。				2	
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		1		1	日々の報告を行い情報共有やアドバイスは行っているが家族支援としての研修会は行っていない。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1	1	昨年度はサロンといった形で保護者、兄弟、地域の方を呼び交流を持つ場を設けることができたが今年度はできなかった為、次年度何らかの形で行えればと思う。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2				
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1			1	非常時の対応は策定しているが周知できていないところがあるので、定期的な報告の必要がある。また、災害時の対応の見直しの検討も必要と考えているが課題が多い。避難訓練等日々の利用時には難しいところがある為、長期休暇時に定期的に行う必要があると思われる。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			1	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1			1	
満足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		事業所運営センター名		評価日		評価者	
				2023. 年 月 日			
項目	評価項目	自己評価結果		評価内容		改善点	
		良い	悪い	良い	悪い	良い	悪い
保健	1	1	1	1	1	1	1
	2	1	1	1	1	1	1
	3	1	1	1	1	1	1
	4	1	1	1	1	1	1
	5	1	1	1	1	1	1
	6	1	1	1	1	1	1
	7	1	1	1	1	1	1
	8	1	1	1	1	1	1
	9	1	1	1	1	1	1
	10	1	1	1	1	1	1
生活	11	1	1	1	1	1	1
	12	1	1	1	1	1	1
	13	1	1	1	1	1	1
	14	1	1	1	1	1	1
	15	1	1	1	1	1	1
	16	1	1	1	1	1	1
	17	1	1	1	1	1	1
	18	1	1	1	1	1	1
	19	1	1	1	1	1	1
	20	1	1	1	1	1	1
教育	21	1	1	1	1	1	1
	22	1	1	1	1	1	1
	23	1	1	1	1	1	1
	24	1	1	1	1	1	1
	25	1	1	1	1	1	1
	26	1	1	1	1	1	1
	27	1	1	1	1	1	1
	28	1	1	1	1	1	1
	29	1	1	1	1	1	1
	30	1	1	1	1	1	1
福祉	31	1	1	1	1	1	1
	32	1	1	1	1	1	1
	33	1	1	1	1	1	1
	34	1	1	1	1	1	1
	35	1	1	1	1	1	1
	36	1	1	1	1	1	1
	37	1	1	1	1	1	1
	38	1	1	1	1	1	1
	39	1	1	1	1	1	1
	40	1	1	1	1	1	1
その他	41	1	1	1	1	1	1
	42	1	1	1	1	1	1
	43	1	1	1	1	1	1
	44	1	1	1	1	1	1
	45	1	1	1	1	1	1
	46	1	1	1	1	1	1
	47	1	1	1	1	1	1
	48	1	1	1	1	1	1
	49	1	1	1	1	1	1
	50	1	1	1	1	1	1